は し が き

グローバルな時代に‘役に立つ英語’をとということで、実践的コミュニケーション能力の養成が叫ばれています。コミュニケーション能力を伸ばすには、まず、リスニングの力をつけることが大切です。相手の話していることが聞けて、初めて、スピーキングの力を伸ばすことができます。また、リスニングの力がつければ、リーディングやライティングの力も自然とついてくるものです。

リスニング能力を向上させることは難しく、ただ受身的に授業を聞いているとか、自分でテープを何となく聞いているだけでは、さほど効果は望めません。何事の習得にもコツがあるように、リスニング能力を向上させるにもコツがあるのです。本書は、これを‘理論に裏打ちされたコツ’という意味で、リスニングストラテジー (listening strategy) と呼び、「どうすればより短期間に、効率よく、リスニング力を向上させることができるのか」に焦点をあてて編集されています。

本書では、リスニングストラテジーのうち、最も重要であると思われる「音声聞き取りのストラテジー」と「内容理解のストラテジー」を20章に割り振って取り上げています。各章では、ストラテジーのポイントを数行で簡潔にまとめ、バラエティーに富んだ練習問題により、ストラテジー習得のための実践演習が行えるようにしてあります。さらに、章末の“Let's Try!”には応用問題を補充して、ストラテジーの定着を図っています。

本書には、CDを添付してあります。授業だけでは時間的に不十分なので、家庭学習にぜひ活用してほしいからです。望ましいのは、予習として、授業で習う範囲を前もって聞いておき、自分なりの答えを書きとめておくことです。授業では、解説を聞きながら、リスニングストラテジーを確実に‘自分のもの’にします。また、復習として、授業で学習した箇所を聞き直し、リスニングストラテジーの理解を深めるのです。

本書は、好評を博した『英語のリスニングストラテジー——効果的な学び方の要点と演習』（金星堂、2000年1月発行）のワークブックとして発刊されたもので、20章からなる「章立て」もほぼ同じで、併せて使用しますと、リスニングストラテジーをいっそう効果的に学ぶことができます。

本書はページ数こそ少ないですが、その中にリスニングストラテジーのエッセンスが凝縮されています。これまでの学習方法では気付かなかったリスニングのコツや、リスニング能力の伸びを実感することでしょう。

最後に、企画の段階からいろいろとご助言を賜り、編集に格別のご尽力をいただいた金星堂編集部の嶋田和成氏に心からお礼申し上げます。

2002年1月

大学英語教育学会 (JACET) 関西支部
リスニング研究会メンバー一同

Contents

- Section 1** 英語の音を聞き取る / 6
- Section 2** 単語・句の強勢に慣れる / 8
- Section 3** 文の強勢とリズムに慣れる / 10
- Section 4** 音声変化——消える音に慣れる / 12
- Section 5** 音声変化——つながる音に慣れる / 14
- Section 6** 音声変化——変化する音に慣れる / 16
- Section 7** Review (1) / 18
- Section 8** 数字を聞き取る / 20
- Section 9** 意味グループ単位で理解する (1) / 22
- Section 10** 意味グループ単位で理解する (2) / 24
- Section 11** 話の要点を理解する / 26
- Section 12** 必要な情報のみを聞き取る / 28
- Section 13** 会話の状況・場所・人間関係を探る / 30
- Section 14** キーワードを把握する / 32
- Section 15** Review (2) / 34
- Section 16** 話者の意図を推測する / 36
- Section 17** 話の展開を予測する / 38
- Section 18** 論理の展開を把握する / 40
- Section 19** 視覚情報を介して聞き取る / 42
- Section 20** Review (3) / 44

Section 1

英語の音を聞き取る

英語は日本語に比べ、多くの母音、子音から成り立っています。日本語の音の連なりは「ア行」と「ン」を除いて基本的には「子音 (C)+母音 (V)」を一音とし、CVCVと交互に現れ単語や文を構成します。一方、英語は、tree (CCV) や strong (CCCVC) のように子音が2つ3つ連なること(子音連鎖)も珍しくありません。また、英語の発音と綴りが必ずしも一致するとも限りません。正確に英語の音声が聞き取れ発音できるように、英語の音に慣れる練習をしましょう。更に、外来語のカタカナ言葉としての発音と英語本来の発音の違いや、和製英語に対する正しい英語表現も学びましょう。

- 1 各組の語中にでてくる母音に注意して発音練習をし、次にCDを聞き、発音された語の記号を○で囲みなさい。

(1) a. bought b. boat (2) a. fool b. full (3) a. hard b. heard
(4) a. live b. leave (5) a. couch b. coach (6) a. boy b. buy
(7) a. hot b. hat (8) a. sit b. set (9) a. cot b. cut
(10) a. word b. ward (11) a. cost b. coast (12) a. walk b. work
(13) a. gas b. guess (14) a. fate b. fat (15) a. cup b. cap

- 2 各組の語頭にでてくる子音に注意して発音練習をし、次にCDを聞き、発音された語の記号を○で囲みなさい。

(1) a. pet b. bet (2) a. bow b. vow (3) a. fan b. van
(4) a. hat b. fat (5) a. fool b. pool (6) a. moon b. noon
(7) a. seat b. sheet (8) a. seem b. theme (9) a. shoe b. Jew
(10) a. ten b. den (11) a. tip b. chip (12) a. cane b. gain
(13) a. lap b. wrap (14) a. light b. right (15) a. G b. Z

- 3 下線部に注意して次の語を発音しなさい。

(1) 語頭：black dress grill squeeze school spring three
(2) 語中：victory ankle bottle single mindless contribute substitute
(3) 語末：honk left linguist diamond desks width months
(4) 黙字：wreath castle raspberry bomb psychology pneumonia knight

4 CDを聞いて、()に入る語を書きなさい。

- (1) Michael () his hair brown and now looks very cool.
- (2) Jean has been in good () so far.
- (3) Let's () it a day after we finish this.
- (4) How am I supposed to () some () time?
- (5) Why don't you sit here and () () for a second?

5 CDを聞いて、発音された順にその番号を絵の下の()に書き、綴りをその横に書きなさい。

() _____ () _____ () _____ () _____

6 和製英語を、正しい英語に直し、発音しなさい。

和製英語	英語	和製英語	英語
(1) アンケート	_____	(2) フリーダイアル	_____
(3) カンニング(テスト等)	_____	(4) パンク(車や自転車等)	_____
(5) ガソリンスタンド	_____	(6) トレーナー(衣服)	_____

Let's Try!

下線の音の違いに注意して次の文を発音しなさい。

- (1) She sells seashells by the sea shore.
- (2) I saw Mr. Walker working at a shoe store.
- (3) The very last bunch of berries tastes very good.
- (4) Let's collect the paper to correct with a red pen.
- (5) A six-year-old boy is thinking of his sick cat.